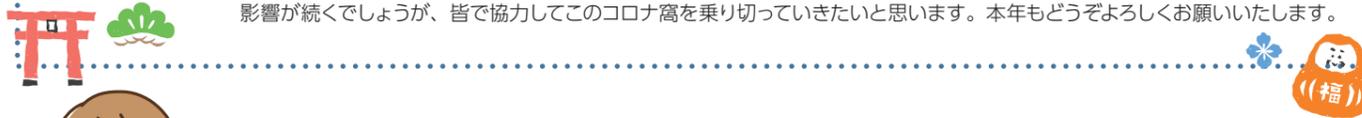




西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院 院長 兼 管理者  
ハートケア西宮わたなべ福祉の郷 総合管理者 榎田 昌平

新年あけましておめでとうございます。昨年は本当に大変な1年でした。当リハビリテーション病院は、新型コロナウイルス感染拡大に対応すべく、本院との協力体制のもとにPCR検査外来や軽症者の受け入れを行ってきました。本来の病院機能である回復期リハビリは、感染対策をしっかり行った上で、質の高いリハビリを提供できるように頑張りました。「福祉の郷」には老健施設(ハートケア)もあり、今後も連携を大切にして地域の医療・介護に貢献すべく努力してまいります。今年もしばらくコロナの影響が続くでしょうが、皆で協力してこのコロナ禍を乗り切っていきたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



## 美容医療センターをOPENします!

このたび、西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院に形成外科・美容医療センターを開設する運びとなりました。社会医療法人渡邊高記念会の理念に基づき、美容やアンチエイジングのアプローチから、地域のみなさまの生活と健康を支えることが使命であると考えております。ケガやできものなどを治療する形成外科だけでなく、さらにキレイにしたい方々のご希望にお答えする美容外科・美容皮膚科として、保険診療・自費診療両方の観点から診療ができることが当院の特徴です。どちらの診療においても、「キレイにしたい」という気持ちに変わりはありません。これまで培ってきた専門的な経験を活かし、患者様目線の安心安全な医療を、真摯かつ誠実に提供したいと思っております。ぜひお気軽にご相談ください。



### 診療内容

#### 形成外科(保険診療)

- できもの・ほくろの除去
- ケガ・傷
- ニキビ
- 眼瞼下垂
- 眼瞼けいれん
- 傷あと・ひきつれ
- 睫毛内反(逆まつげ)
- 腋臭症
- 陥没乳頭

#### 美容外科(自費)

- まぶたの手術: 二重まぶた形成(埋没法・切開法)
- 目頭切開
- 上/下まぶたたるみ取り
- 婦人科形成 など

#### 美容皮膚科(自費)

- シミ・くすみ
- ヒアルロン酸
- ダーマペン
- 肝斑
- ポトックス
- ピアス
- そばかす
- AGA
- アートメイク 等
- ニキビ・ニキビ跡(レーザー治療ZO SKIN HEALTHなど)
- 医療脱毛

西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院 形成外科・美容医療センター長 梶月 玲子

### 法人関連施設

- 社会医療法人 渡邊高記念会 / 西宮渡辺病院 / 西宮渡辺心臓脳・血管センター / 西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院 / 西宮渡辺心臓リハビリクリニック / ハートケア西宮わたなべ福祉の郷 / 定期巡回・随時対応型訪問看護看護事業所わたなべ / グループホーム西宮わたなべ / サービス付高齢者向け住宅ひだまり / すくすく保育 / 訪問看護ステーション西宮わたなべ / 在宅介護センター西宮わたなべ / 西宮渡辺ヘルパーステーション / 健康塾 / 西宮市中央在宅療養相談支援センター / 西宮渡辺心臓脳・血管センター附属訪問看護ステーション
- 社会福祉法人 高明会 / シルバートピア西宮 / 訪問看護ステーションまはま / 在宅介護支援センターはまかぜ

わたなべニュースに対する皆様よりのご意見・ご感想をお待ちしております。

当院各階話所・1F受付に設置しております「ご意見箱」をご利用ください。

【発行元】社会医療法人 渡邊高記念会 法人本部 【TEL】0798-74-2630 【FAX】0798-74-7257 【URL】http://www.n-watanabe-hosp.jp/

## 新年のご挨拶



社会医療法人渡邊高記念会 理事長

佐々木 恭子

あけましておめでとうございます。新型コロナ禍でのお正月、いかがお過ごしでしょうか? 法人もスタッフ一同気持ちを新たに新年を迎えています。面会制限や入口での検温等、多大なご迷惑をおかけしておりますがどうか今しばらくのご協力とご支援をお願い致します。

昨年11月末、米国ではファイザー社のワクチンの有効性が確認され、使用が開始されています。すでに日本国内に運び込む準備も整っていると伝えられます。現在第3波のコロナ禍も春には収束に向かい無事東京オリンピックが迎えられるのでしょうか? 明るい未来を夢想しつつ新年を迎えました。コロナ一色であった昨年2020年の1月から6月までの新型コロナを含む呼吸器疾患での死亡者数は一昨年2019年の死亡者数を大きく下回り11,000人も減少しています。冬のインフルエンザの発症数も大きく減少した状態で推移しているようです。マスクや手洗いその他感染症予防の効果でしょうか? 諦めず皆が力を合わせれば良い結果が見えてくる事の証明でしょうか? 見渡せば決して悪い事ばかりではない現実も見えるはず。私ども法人も今年度は本院である西宮渡辺病院の増改築を予定していますし、しばらく休眠状態であった前浜町での美容皮膚科も再オープンします。昨年開設した心臓脳・血管センターの健康館も健康増進をテーマに健診と疾病予防のためのより充実した内容となるはず。脳ドックをはじめ多彩な健診メニューも用意しています。夢を持ち続ける1年でありますようにと願っています。どうか暖かいご支援とご協力をお願い致します。皆様のご健康とご健勝をお祈りしつつ、素敵な一年でありますように。



社会医療法人渡邊高記念会 副理事長  
兼 西宮渡辺病院 院長

佐々木 健陽

あけましておめでとうございます。昨年西宮渡辺病院では、今まで以上に整形外科の専門性を高めるために5月には手外科 外傷整形外科 高畑医師、4月、10月に脊椎外科専門医 大山医師 山下医師を招聘し、さらに10月に脊椎センターを立ち上げました。さらに本年度は、手術室増設を行います。

また、西宮渡辺心臓脳・血管センターでは健康館が完成し、CT、MRI、アンジオ室が増設され、西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院では、美容形成外科が開設となりました。私どもは、地域のみなさんの健康を守り、快適に暮らせるように敬天愛人の精神を持って、この一年も精進したいと思っています。

今年は、コロナを克服して明るい年になることを祈ります。本年もどうぞ宜しくお願いします。

## ❖ 新年の挨拶（西宮渡辺病院）❖



西宮渡辺病院 副院長 兼 外科主任部長 岡田 憲幸

新年あけましておめでとうございます。昨年はコロナ一色でしたが、多くの病院でそのために手術件数が減少しているようです。その中で当院外科の手術症例は、2020年1～11月で全身麻酔と腰椎麻酔が105例、局所麻酔が44例、実際の手術施行症例件数が154件と目標を上回ることができました。(内容の詳細は1月中旬に病院ホームページに掲載しますのでご覧ください)ほかの病院に勝るとも劣らぬ高齢、心血管リスク症例を多数扱う中で、大きな合併症がなかったのは、センター、看護、その他皆様のご協力の賜物と感謝しております。また、コロナで西宮救急全体の搬送数も減少している中で、当院は数を保っているようです。いち早く発熱者への対応、普段から非応需を減らす戦略を行っていることが功を奏したのかもしれない。こちらに対してもICT、関係医師、看護師、事務の方々へ深く御礼申し上げます。今年も益々当院が発展していきますよう、「手術」「救急」「癌の化学療法」など急性期疾患症例が増えていくよう努力工夫していくことを新年の抱負としてご挨拶に代えさせていただきます。



西宮渡辺病院 西宮人工関節センター センター長 福岡 慎一

あけましておめでとうございます。昨年はCOVID19の影響で一般診療や手術を控える患者も多く、手術件数は減少しました。今年はワクチンや治療薬の出現で明るい年になることを祈念しています。2009年4月に開設した西宮人工関節センターは人工関節手術件数が延べ1500例を超えました。昨年より本院整形外科は人工関節センター、手外科、外傷外科、脊椎センターと専門性の高い医療体制が整ってきました。グループ間でも切磋琢磨して阪神地区の皆様により良い医療を提供できるよう精進したいと思っておりますので、よろしくお祈りいたします。



西宮渡辺病院 外傷整形外科部長 高畑 智嗣

あけましておめでとうございます。昨年5月に当院整形外科に赴任しました。専門は手外科と骨折治療です。出身は大阪府箕面市ですが、高校卒業から故郷を離れ、北海道に30年、ついで東京都江戸川区と栃木県鹿沼市に住みました。昨春ずいぶん久しぶりに関西に戻ってきましたが、コロナ禍のために旧友とも会えず食べ歩きも控える日々です。社会の活動性の低下のためか、整形外科外傷の手術件数も少なかった気がします。新年はワクチンが実用化され、様々な面で元の生活を取り戻せることを祈っています。

西宮渡辺病院 西宮脊椎センター長 山下 智也

新年あけましておめでとうございます。昨年は新型コロナ感染症という未曾有の世界情勢が起こり、皆さまにおきましても大変な1年であったと思います。そのような中、病院を受診することをためらう方もおられるかと思えます。脊椎疾患の患者さんは神経が障害されていることが多いですが早めの対処により良好に回復することができます。不安に思われればまずは一度受診いただければと存じます。昨年は脊椎センターを立ち上げ、コロナ禍にも関わらず脊椎手術件数は大きく増加いたしました。引き続き西宮市における脊椎治療を精一杯がんばらせていただく所存です。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



西宮渡辺病院 消化器外科部長 孫 学炳

新年あけましておめでとうございます。昨年4月より本院外科に勤務させていただき、岡田副院長、荒川先生と3人で外科診療に携わっております。岡田副院長による救急体制の強化、法人内での連携および消化器内科・麻酔科・他の診療科医師との連携さらに看護師・リハビリテーション科・薬剤師・放射線技師・栄養士との連携により、手術症例数も増加しており、今のペースでいきますと昨年度の2倍ほどに達するかと思われま。それでもわれわれ外科医3人のキャパとしてはまだまだ余裕がありますので、さらに多くの手術を行い、地域医療に貢献できるように邁進したいと思います。これからも手術する際には、患者さんの年齢や併存疾患を十分に考慮し、より安全に手術が行えるよう日々精進して参りますのでよろしくお願い致します。2021年が皆様にとりまして、良い年になることをお祈りしつつ、新年のご挨拶とさせていただきます。



西宮渡辺病院 呼吸器内科部長 好村 研二

新年明けましておめでとうございます。昨年4月から本院呼吸器内科に赴任させていただきました好村と申します。こちらでお世話になるまでは、大阪府根山医療センターで22年間、最期の9年間は呼吸器集中治療室長として勤務しておりました。大阪府でも呼吸器内科を標榜している病院は非常に少ない状況でしたが、兵庫県はさらに少ない状況であり、昨今のコロナ渦の中で、当院における呼吸器内科の役割や責任は重大であると痛感しております。今まで培った呼吸器内科としての経験を活かして、専門性の高い医療を提供できるように頑張っていきたいと思っておりますので、本年もどうぞ宜しくお願い致します。



西宮渡辺病院 麻酔科部長 垣内 英樹

新年あけましておめでとうございます。という言葉が似つかわしくない新年も珍しいのでは無いでしょうか?もちろん原因は未だ収束の糸口すら見えないCOVID-19の所為でございます。このウイルスは猛威を振るい留まるところを知りません。我々麻酔科の領域では全身麻酔時に気管挿管・抜管を行うためにCOVID-19患者を麻酔すれば通常の防御服では周囲にいた者が一巻の終わりです。実際に閉鎖に追い込まれた手術室もいくつかあり、極力縮小された麻酔が推奨され区域ブロックを主体とした物が好まれる事となりました。おまけにCOVID-19感染患者の手術予後が極めて悪いことも報告されています。来年は通常のおめでたい紙面である事を祈っております。

西宮渡辺病院 看護部長 村上 明美

あけましておめでとうございます。2020年は新型コロナウイルスの影響で生活様式がガラリと変わってしまいました。院内もいつもとは異なり、常時マスクの着用や流行状況によって面会制限等があり、皆様さぞかし不安になられたこととお察しします。このような中でも皆様から温かな励ましやご協力を頂き、手術や検査など普段通りに医療が続けられました。本当にありがたく心よりお礼申し上げます。2021年もコロナ警戒の状況が続きますが、看護部の理念である「きめ細やかで思いやりのある看護」を実践し、大切な皆様とのつながりを深めていつでも安心して頼れる病院であるように努力したいと思います。本年もご指導ご鞭撻のほど よろしくお祈り申し上げます。



## ❖ 新年の挨拶（西宮渡辺心臓脳・血管センター）❖



西宮渡辺心臓脳・血管センター 病院管理者 山室 淳

新年あけましておめでとうございます。昨年の2020年6月1日はセンター北側に、新棟完成のお披露目 開院いたしました。さらに充実した医療サービスを提供できるように努めていきたいです。さて近年、健康寿命延伸を図る目的から「脳卒中・循環器病対策基本法」が施行されております。これは私たち西宮渡辺心臓脳・血管センターがめざす地域に根ざした循環器の中核的専門病院としての使命に一致しております。この法制化を機にさらなるステップアップを目指したいと思っています。今年も法人内の各医療施設、介護施設・部門とも連携をとり地域医療に努めていきたいと考えます。今年もよろしくお祈りいたします。

西宮渡辺心臓脳・血管センター 民田 浩一

新年あけましておめでとうございます。昨年は、大動脈弁狭窄症患者に対する経カテーテル大動脈弁埋め込み術(TAVI)の実施施設に認定されTAVIを開始しました。心臓補助デバイスであるIMPELLAを導入し心原性ショックの症例に単独あるいはPCSP(VA-ECMO)と併用して使用しています。IMPELLAは経皮的に挿入する補助人工心臓であり、これまで救命が困難であった心原性ショックの患者様の転機を改善させることができます。西宮市では唯一の導入施設となります。6月には別棟が完成し健康館と名付けました。運動負荷心工コー室を含めた6台体制の工コーラボ、不整脈アブレーション治療に特化したカテーテル検査室そして64列CTが追加導入されました。また、病院併設のメディカルフィットネス「健康塾」を2フロアへ拡充し当センターから移設しました。1Fでは管理栄養士による栄養・生活指導などを行う健康テラスを開設し疾患予防に努めています。地域における心臓リハビリテーションの拠点としての甲子園口の心臓リハビリクリニックと前浜の西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリ病院内の外來心臓リハビリ部門ですが、COVID-19蔓延時期においても健康チェックを加えたdoor-to-doorでの送迎により多くの患者様に安心して参加いただくことができました。より一層地域医療施設、介護施設との連携をはかり、超急性期から慢性維持期までの途切れのない診療を行える心臓・脳血管専門病院であり続けるように職員一同努力する所存です。本年も宜しくお願いいたします。



西宮渡辺心臓脳・血管センター 副院長 兼 心臓血管外科統括部長 吉田 和則

新年あけましておめでとうございます。2008年春、心臓血管外科部門を開設しました。以降、病院執行部やスタッフの献身的なサポート、近隣病院との連携、そして大動脈センター長中尾佳永先生、血管外科主任畑田充俊先生が、チームに加わったおかげで、一層、充実した診療が可能となり、阪神南地区で急性期を担う中核病院へと成長しました。近年、時代のニーズに伴い、従来からのOpen surgeryに加え、低侵襲治療領域で、ステントグラフト治療、MICS-AVR、MVP、TAVR、Mitra Clip、Impellaなどの新規デバイスにおける、めざましい進歩があり、我々も懸命に取り組んでおります。今後も、ご迷惑をおかけする事も多々あるかと存じますが、ご指導の程、よろしくお願い致します。



西宮渡辺心臓脳・血管センター 漏斗胸治療センター センター長 植村 貞繁

新年あけましておめでとうございます。昨年はコロナで明け、コロナで暮れる大変な1年でした。そのような中、私は4月に心臓脳・血管センターに赴任し、漏斗胸治療センターを立ち上げました。漏斗胸専門外来は2016年から始めておりましたが、入院治療は昨年開始したことになります。私は川崎医科大学で1000件以上の漏斗胸の手術を行い、その経験を元に、この漏斗胸治療センターにおきましても専門的治療を行っていきたく思います。漏斗胸の治療は関西地区の大学病院などでもあまり行われていません。非常に専門性が高い領域です。そのため、患者さんも兵庫県を超えて広域から受診されます。気になる症例がありましたら是非ご紹介いただきたくお願い申し上げます。今年は皆様にとっていい年になりますように、お祈り申し上げます。



西宮渡辺心臓脳・血管センター 脳外科・脳卒中センター部長 大森 一美

新年明けましておめでとうございます。昨年はコロナに始まりコロナで終わった、そのような印象が非常に強い一年でした。クリスマスから年末年始もどこにも出かけずいゆる「寝正月」で過ごされた方も多いかと思えます。そんな中、心臓、脳をはじめとする救急疾患は「待った」をかけてくれません。止まない雨はない、明けない夜もない。一刻も早くコロナの影響が落ち着き、平常の診療ができることを皆様と共に願っております。

西宮渡辺心臓脳・血管センター 不整脈科主任部長 大友 潔

明けましておめでとうございます。当院不整脈科は2015年9月の設立以来、2020年末でアブレーション1300例を達成することができました。これは多くの患者さんをご紹介いただいた近隣の先生方のご指導・ご鞭撻があったからこそ実現できた実績であり、心より感謝いたします。今後ともご指導・ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い致します。今後とも治療レベルの向上を目指し、患者さんや患者さんをご紹介いただいた先生方のお役に立てるように努めて参ります。



西宮渡辺心臓脳・血管センター 救急科部長 徳田 剛宏

新年あけましておめでとうございます。2020年は、新型コロナウイルス感染症という非常事態の中で、通常診療も継続して地域社会における役割を果たすべく、法人全体が一致団結して臨んだ一年でありました。残念ながら2021年を迎えても厳しい状況が続いており、ストレスのある環境下での診療が続きます。当センターにはハイリスクの患者様が多く入院、および外来へ通院されているため、救急部門における水際対策は非常に重要であります。引き続き万全な対策を講じて、救急医療に尽力して参りたいと思います。今年も宜しくお願い致します。

西宮渡辺心臓脳・血管センター 看護部長 岡澤 恵子

昨年は新型コロナウイルスが発生しこれまでに経験したことのない流行となりました。直接対応する否に関わらず、看護職員は治療法が確立していない病気への不安、物資不足への不安、そして自分が感染源になるのではないかと恐怖と共存しながらその重圧感に耐え責任感を持って責務を遂行してきました。しかしどのような状況下であっても急性期の病院として地域に貢献し使命を果たすことには変わりありません。看護部の基本理念「安心と満足につながる誠実な看護」に基づき、面会制限に伴う患者様のストレスの軽減、終末期でさえも十分に関われない家族への支援、そして看護職員のストレス要因の軽減など一人ひとりの思いを大切にしながら質の高い看護を誠実に提供してまいります。2021年はあせらず先を急がず一歩一歩着実に物事を進めることができる大切な年となるよう願うものです。本年もどうぞよろしくお願い致します。

